

2022.12.23 autumn



みどり
水土里ネット

未来の「水」「土」「里」を
創造する

新潟の土地改良

新潟県土地改良

事業団体連合会



Vol.617

令和4年度 第3号

Contents

要請活動	1	令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)	7
農業農村整備の集い	3	民法・不動産登記法(改正)施行に向けての特別研修会	8
令和4年度 土地改良施設管理事業推進協議会研究会	4	令和4年度 新潟県農村振興技術講演会 /	
ため池フォーラム信州 in 上田	5	令和4年 秋の叙勲受章者紹介	9
令和4年度 農業農村整備事業に関する意見交換会(予算キャラバン) /		連合会日誌 / 表紙写真紹介	10
令和4年度 新潟県園芸振興大会	6		

要請活動

要請のポイント

- 地域の要望に応える農業農村整備事業の予算の確保
- 安定した営農を支える農業水利施設の維持管理に関する支援の強化、特に用排水ポンプ運転の燃料費や電気料金の高騰に対する運営基盤の支援の強化
- 土地改良法や農業経営基盤強化改正の適切な運用を図るための土地改良団体への支援の強化

新潟県への要請

去る11月15日、本会は、新潟県の花角知事ならびに新潟県農地部の登り部長に対し、新潟県の農業農村整備の推進に関する要請活動を行いました。

三富会長から要望書を手交した後、意見交換を行い、新潟県内では、これまでも増してほ場整備の採択要望が多くなっており、地域農業の発展に向けニーズが高まっている状況であることを再認識したほか、高騰を続ける電気料金に関して、本県では土地改良区が管理する農業用排水施設が多いことから、花角知事は、「電気料金の値上げの影響は大きい。規模の大きい土地改良区ではどのくらい値上がりする見通しなのか。」といった発言があるなどなど、維持管理業務と組織運営面の実情を意見交換し、支援要望をご理解いただきました。

また、ほ場整備事業に関し、登り部長からは、「中山間地域では、今後どのように事業を進めていきたいか、といったことを地域の方々とじっくり話し合わなければならない。」と地域のビジョンと農地を守るという点から事業推進について発言があり、ますますきめ細やかな取り組みが必要であることと、関係機関との連携の重要性を確認しました。



＜ 三富会長(右から5番目)から
花角知事(右から4番目)へ要望書を手交 ＞



＜ 三富会長(右から3番目)から
登り部長(右から4番目)へ要望書を手交 ＞

北陸四県土地改良事業団体連合会協議会の要請活動

要請のポイント

- 土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、現場のニーズに応えられるよう、必要な予算を確保すること。特に、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策については、令和5年度以降も令和4年度と同様に十分な予算を確保すること。
- 農業競争力の強化を図るため、担い手への農地集積・集約化や農業の高付加価値化、農地の大区画化・汎用化、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 土地改良区における複式簿記の定着や活用、燃料価格や農事用電力料金の急激な高騰への対応など、土地改良区の適切な運用が図られるよう、運営基盤強化に対する支援を推進すること。

中央への要請

去る10月19日から21日の3日間、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、農林水産省、財務省、自民党本部に対して、令和5年度農業農村整備事業予算の確保に向けた要請活動を行いました。

農林水産省では、野村農林水産大臣、青山農村振興局長へ、財務省では、宮本大臣政務官へ、自民党には、麻生副総裁、二階国土強靱化推進本部長に要請・面会しました。

参議院議員会館では、進藤議員、宮崎議員を訪れ、要望書を手交し、各県の状況と要望を伝えました。



〈各県の会長らが野村農林水産大臣
(右から4番目)へ要望書を手交〉



〈各県の会長らが麻生副総裁
(右から4番目)へ要望書を手交〉

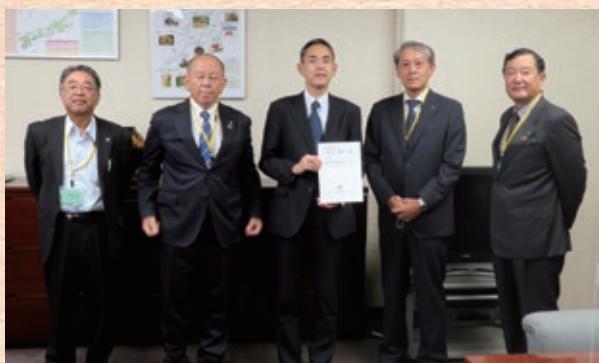


〈各県の会長らが二階国土強靱化推進本部長
(右から3番目)へ要望書を手交〉

北陸農政局への要請

去る10月12日、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会は、川合北陸農政局長へ要請活動を行いました。

また、要請内容をもとに各県の農業農村整備の状況や課題について幹部職員との意見交換を行いました。



〈北陸四県の専務理事から
川合北陸農政局長(中央)へ要望書を手交〉



〈幹部職員との意見交換〉

農業農村整備の集い

去る11月20日、シェーンパッハ・サボー（東京都）において、全国土地改良事業団体連合会・都道府県土地改良事業団体連合会の共催による農業農村整備の集いが開催され、全国から農業農村整備に携わる関係者約1000人が参加しました。

開会にあたり、二階全土連会長から「今年から男女共同参画の推進に向けた取組みが本格化している。土地改良区の女性理事を10%以上にするという目標に向けて集中的に取り組んでいただくようお願いしたい。闘う土地改良は限りなく続く。男女共に一致団結して更なる闘いを続けていけるよう頑張ろう。」と挨拶がありました。

次に、来賓の森山自民党TPP・日EU・日米TAG等経済協定対策本部長、武部自民党農林部会長、進藤全土連会長会議顧問より祝辞が述べられました。

続いて、福井県土連の野坂専務理事により要請文が提案され、満場一致で採択された後、女性理事の登用について、胆沢平野土地改良区の及川理事長より事例発表が行われたほか、宮崎全土連会長会議顧問より情勢報告が行われました。

最後に、知念沖縄県土連副会長の発声でガンバロウ三唱が行われ、集いは滞りなく終了しました。



<二階会長>



<森山本部長>



<野坂専務理事>



<会場の様子>

要請書（抜粋）

- 一 食料自給率の維持・向上を通じて食料安全保障に寄与する土地改良事業の計画的・安定的な推進のため、令和4年度補正予算及び令和5年度当初予算において、必要な予算を安定的に確保すること。
- 二 大規模災害からの復旧・復興や再度災害防止の取組を早急に進めること。また、災害対応のデジタル化、事務手続きの更なる簡素化を図ること。
- 三 農業の競争力強化のため、農地の集積・集約化、米から高収益作物の転換、スマート農業の導入を促す農地整備を引き続き推進すること。
- 四 農村地域の国土強靱化のため、老朽化した農業水利施設の更新・長寿命化や、豪雨・地震対策等を引き続き推進すること。
- 五 ICT、AI等の先進技術を活用して、土地改良施設管理の省力化・高度化を図るとともに、情報通信技術を扱う土地改良技術者等の人材育成を図ること。

令和4年度 土地改良施設管理事業推進協議会研究会

去る10月6日～7日の2日間にわたり、埼玉県内において、令和4年度土地改良施設管理事業推進協議会研究会が開催されました。

この研究会は、全国の土地改良施設を管理する土地改良の関係者が、現在、直面している課題等の情報交換や研鑽を積むことを目的に行われています。

6日は、THE MARK GRAND HOTELにおいて、研究会が行われ、関係者約150名が参加しました。

全国土地改良施設管理事業推進協議会の丸目副会長による主催者挨拶で開会し、進藤参議院議員より来賓挨拶があった後、令和5年度農業農村整備事業関係予算における施設保全管理関係事業に関する説明や独立行政法人水資源管理機構の業務の紹介など4つの講義が行われました。

最後に次期開催県である福島県の会津北部土地改良区の鈴木事務局長より挨拶が行われました。



< 進藤参議院議員 >



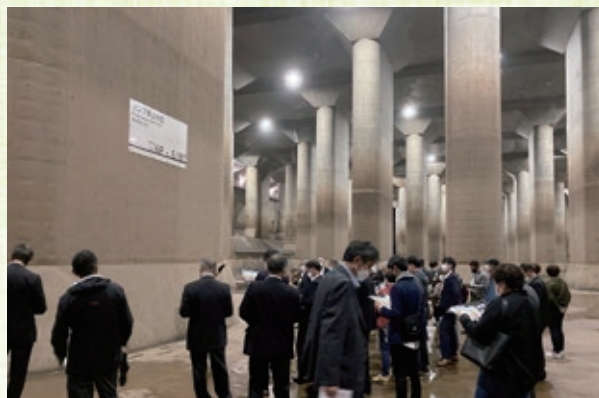
< 会場の様子 >

7日は、主催である葛西・羽生領島中領土地改良区連合が管理している金野井揚水機場やトンネル全長6.3キロメートルを有する巨大な地下放水路として知られる首都圏外郭放水路などを見学する現地研修が行われました。

コロナウイルス感染防止のため、参加者は、3つのグループに分かれ、各施設の職員から施設の役割や歴史について説明を受けながら現地を視察しました。



< 金野井揚水機場のポンプ >



< 首都圏外郭放水路のトンネル内部 >



< 庄和排水機場（外観） >

金野井揚水機場（写真左上）は、国営かんがい排水事業利根中央地区で改修されたもので、横軸斜流ポンプ口径900ミリ2台と600ミリの1台を用いて、金野井用水路へ揚水している。

首都圏外郭放水路（写真右上）は、国営利根中央土地改良事業等により完成した地下放水路で、埼玉県内にある中川や倉松川といった中小河川の洪水を防ぐため、一級河川江戸川につながる庄和排水機場へ水を送り出している。

庄和排水機場（写真左下）は地下放水路から流下してきた水を、1秒間で25メートルプール1杯分を排水できる能力を有するポンプ設備を用いて江戸川へと排水している。

ため池フォーラム信州in上田

去る11月10～11日の2日間にわたり、長野県内において、ため池の保全活動や地域活性化への取組事例について、情報共有を図ることにより、今後の取組をより一層推進することを目的としたため池フォーラム信州in上田が開催されました。

10日は、上田市サントミュージゼにおいて、フォーラムが行われ、各都道府県、土地改良区等関係者約600人が参加しました。

上田市の土屋市長の挨拶で開会し、農林水産省農村振興局整備部防災課の細井課長より来賓挨拶があった後、ため池の新たな利用価値の創出に関する基調講演やため池の防災・減災対策に関する情勢報告のほか、長野県内のため池の活用や管理方法について、県内の土地改良区等から事例発表がありました。

最後に次期開催県である鳥取県農林水産部の西尾部長より挨拶が行われました。



<土屋市長>



<細井課長>



<情勢報告を行う中司課長補佐>



<会場の様子>

11日は、塩田平のため池群である「^{てあらい}手洗池」や「^{したくい}舌喰池」の見学をメインとした上田市内コースとため池百選に選定された「^{みしゃか}御射鹿池」や「白樺湖」の見学をメインとした長野県内コースの2つのコースが設けられ、参加者は、関係者から施設の歴史や役割について、それぞれのコースにおいて説明を受けながら見学しました。



<御射鹿池>

御射鹿池は、標高1528メートルに位置し、白樺湖と同様、用水を温めるために築造された農業用ため池。透明度が高く、水面に周囲の風景が鏡のように映り込むなど風光明媚であることから、ため池百選にも選定されている。



<白樺湖>

白樺湖は、1416メートルという高い標高の中でも安定した水稲作ができるよう築造された農業用温水ため池。貯水量は百万立方メートルを超え、防災重点農業用ため池にも指定されている。

令和4年度 農業農村整備事業に関する意見交換会 (予算キャラバン)

去る11月10日、新潟県自治労会館(新潟市)において、令和4年度農業農村整備事業に関する意見交換会が開催されました。

この会には、農業農村整備事業を巡る地域の課題・要望等についての意見交換のため、農林水産省、新潟県農地部、市町村、土地改良区など約80人が出席しました。

新潟県農地部の登り部長の挨拶で開会し、農林水産省農村振興局水資源課の緒方課長から令和5年度農業農村整備事業関係予算概算要求に関する説明が行われた後、農林水産省と市及び土地改良区との意見交換が行われました。

令和5年度 予算概算要求	R4 当初予算	R5 概算要求	前年度比
農業農村整備事業(公共)	3,322	3,933	118.4%
農業農村整備関連事業(非公共) 〔農地耕作条件改善事業 農業水路等長寿命化・防災減災事業 農山漁村振興交付金〕	540	651	120.5%
農山漁村地域整備交付金(公共) (農業農村整備分)	591	689	116.5%
計	4,453	5,273	118.4%

(単位:億円)



< 緒方課長 >



< 意見交換会の様子 >

令和4年度 新潟県園芸振興大会

去る11月7日、ANAクラウンプラザホテル新潟(新潟市)において、令和4年度新潟県園芸振興大会が開催されました。

この大会には、若者が魅力を感じる、活力ある園芸産地を造るため、担い手確保や販売力強化などの事例を聞くことを目的として、農業者や土地改良区など会場及びオンラインにて約300人が参加しました。

佐久間副知事の挨拶で開会し、新潟県農林水産部の神部課長から新潟県園芸振興基本戦略に関する今後の取り組み方向についての情勢報告の後、株式会社東急ストア営業本部商品総括室の御供青果部長からコロナ禍で起こった消費行動の変化に関する講演等が行われました。

最後に、北越後農協オータムポエム部会の阿部部会長から産地の意気込みとして挨拶が行われ、参加者は、労働力支援としての1日農業バイトといった担い手確保策や商品の独自価値の追求といった販売力強化など、知識を深めることができた有意義な大会となりました。



< オンライン講演を行う御供青果部長 >



< 会場の様子 >

令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)

去る11月16日、県土連ビル(新潟市)において、土地改良区(連合)の会計担当者等を対象とした令和4年度統合整備推進研修(会計研修)を開催しました。

この研修会は、複式簿記による財務諸表等に関する知識の習得を目的として、約90名が参加しました。

本会の坪谷専務理事の挨拶で開会し、全土連の担当職員2名の講師から2つの講義が行われました。

参加者からは、「作成した財務諸表から財務分析を行うことにより、施設更新費用の事前積立の額などがより明確になった。」といった感想が聞かれ、実りある研修となりました。

研修概要

研修講義	講 師
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 専務理事 坪谷 満 久
財務諸表等を活用した財務分析の方法	全国土地改良事業団体連合会 支援部 主 査 金 内 琴 美
(研修内容)・貸借対照表や収支決算書等財務3表の分析による土地改良区の財務分析 ・貸借対照表を活用した施設更新事業等に要する費用の事前積立の事例紹介 ・貸借対照表を活用した安全性、正味財産増減計算書を活用した収支などの財務分析指標	
財務諸表等の作成手続き	全国土地改良事業団体連合会 支援部 主 幹 田 中 克 哉
(研修内容)・総勘定元帳への転記といった日々業務から貸借対照表の作成といった決算事務業務までの複式簿記方式での事務処理の流れ ・減価償却費の計上や有価証券の評価替えなどの決算整理事項など決算整理事務に関する説明 ・正味財産増減計算書、貸借対照表などの作成方法に関する説明	



< 田中主幹 >



< 金内主査 >

民法・不動産登記法(改正)施行に向けての特別研修会

去る10月27日、県土連ビル(新潟市)において、県、県内土地改良区などの職員を対象とした民法・不動産登記法(改正)施行に向けての特別研修会を開催しました。

この研修会には、改正された民法、不動産登記法ならびに相続土地国庫帰属法といった新法に関する知識の習得を目的に、会場及びオンラインにて約80名が参加しました。

本会の坪谷専務理事の挨拶で開会し、住所変更登記の義務化や改正民法による不明共有者がいる場合の解消制度の創設といった法改正に関する2つの講義を行いました。

参加した本会職員からは「登記の義務や新設された制度について、施行年度は先であるものの、事前に制度を熟知して備えていきたい。」といった声が聞かれるなど充実した研修会になりました。

研修会概要

研修講義	講 師
開会挨拶	新潟県土地改良事業団体連合会 専務理事 坪谷 満 久
所有者不明土地の解消に向けた民事基本法制の見直しについて	新潟地方法務局不動産登記部門 統括登記官 三 原 俊 夫 次席登記官 別 府 雅 樹
(研修内容)・増加傾向にある所有者不明土地の問題について ・所有者不明土地等の発生予防に資する不動産登記制度の見直しや相続土地国庫帰属制度の創設、土地の利用の円滑化に資する所有者不明土地管理制度等の創設といった民法の規律の見直しなど各種制度に関する説明	
土地改良事業実施における制度の活用について	新潟県農地部農地計画課土地改良団体係 係 長 圓 山 亮
(研修内容)・所有者不明農地の発生予防効果が期待される相続登記の義務化など、改正不動産登記法の活用について ・所有者不明農地の利用の円滑化が期待される所有者不明土地管理制度など、改正民法の活用について	
質疑応答	新潟地方法務局 新潟県農地部農地計画課



<三原統括登記官>



<別府次席登記官>



<圓山係長>



<会場の様子>

令和4年度 新潟県農村振興技術講演会

去る11月18日、新潟県民会館(新潟市)において、令和4年度新潟県農村振興技術講演会が開催されました。

この講演会は、会員である農業農村整備に携わっている県や市町村、土地改良区、コンサルタントなどを対象に、様々なジャンルの情報を幅広く提供することで、新たな知識を得ることと技術力向上を図りながら新潟県の農村振興に寄与すること目的としたもので、会場及びオンライン合わせて約100名が参加しました。

齋藤理事長の開会挨拶の後、施設管理やスマート農業に関する3つの講義が行われ、参加者は、管理や栽培の効率化・省力化について理解を深めることができ、充実した研修会となりました。

講演会概要

講 演	講 師
開会挨拶	NPO法人にいがた水土里支援センター 理事長 齋藤 瑞穂
独立行政法人水資源機構の建設・管理の概要 【水路等施設におけるDX活用の取組】	独立行政法人水資源機構 副理事長 日置 秀彦
(研修内容) ・水路等施設管理支援システムやUAVを活用した巡視点検など水路等施設におけるDX活用の取組 ・予備排水操作や温水除草といった水路等施設管理の新たな取組	
農業DX・スマート農業の推進にかかる新潟県内の取組事例 ～新潟県津南町～	津南町農林振興課 参 事 歌代 景一
(研修内容) ・スマート農業実証プロジェクトにおけるラジコン草刈機やセンシングドローンの実証成果の紹介 ・農山漁村振興交付金を活用した農業生産基盤への情報通信環境整備の取組	
農業DX・スマート農業の推進にかかる新潟県内の取組事例 ～株式会社白銀カルチャー～	株式会社白銀カルチャー 代表取締役 荒木 康男
(研修内容) ・通信改良やオペレーターの資質向上の必要性など、スマート農業の現状と課題について ・スマート農業の効率性をより生かすための大区画ほ場の有効性・必要性などの紹介	
閉会挨拶	耕友会 会 長 宮里 圭一

令和4年 秋の叙勲受章者紹介

この度の栄ある受章、誠におめでとうございます。
今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

旭日双
光章



すがい はちえい
須貝 八栄

胎内川沿岸土地改良区 理事長
新潟県土地改良事業団体連合会 理事

旭日双
光章



むろはし げんいちろう
室橋 源一郎

元 中之島土地改良区 理事長
元 新潟県土地改良事業団体連合会 副会長

旭日単
光章



おの けんたろう
小野 健太郎

元 川東土地改良区 理事長

旭日単
光章



よねはら あきよし
米原 章善

角田山ろく土地改良区 理事長

連合会日誌

10月 6日(木)～7日(金)	令和4年度 全国土地改良施設管理事業推進協議会研究会	埼玉県
12日(水)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 北陸農政局要請活動	石川県
19日(水)～21日(金)	北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 中央要請活動	東京都
20日(木)	農業農村整備の集い	東京都
24日(月)	令和4年度 疏水ネットワーク研修会	東京都 (オンライン同時開催)
27日(木)	民法・不動産登記法(改正)施行に向けての特別研修会	県土連ビル (オンライン同時開催)
28日(金)、31日(月)	令和4年度 土地改良区体制強化事業施設管理研修(発電施設)発電維持管理研修	オンライン
11月 2日(水)	監事会監査	県土連ビル
7日(月)	令和4年度 新潟県園芸振興大会	新潟市
10日(木)	全国土地改良施設管理事業推進協議会総会	東京都
	令和4年度 農業農村整備事業に関する意見交換会(予算キャラバン)	新潟市
10日(木)～11日(金)	ため池フォーラム信州in上田	長野県
15日(火)	新潟県への要請活動	新潟市
16日(水)	令和4年度 統合整備推進研修(会計研修)	県土連ビル
18日(金)	一般社団法人地域環境資源センター 令和4年度第2回理事会	東京都 (オンライン同時開催)
	令和4年度 新潟県農村振興技術講演会	新潟市 (オンライン同時開催)
22日(火)	第44回 全国土地改良(沖縄県)大会	沖縄県
24日(木)	令和4年度 ほ場整備地区営農プラン意見交換会(新潟会場)	県土連ビル
28日(月)	令和4年度 ほ場整備地区営農プラン意見交換会(上越会場)	上越市
12月 1日(木)～2日(金)	令和4年度 北陸四県土地改良事業団体連合会協議会職員研修会	長岡市
9日(金)	正副会長会議	県土連ビル
16日(金)	理事会	県土連ビル
19日(月)	第6回 日中土地改良技術交流セミナー	オンライン

表紙写真紹介



水土里ネット新潟 会長賞 「いねかりの初日」

すとう るな
首藤 留奈さん(新潟県新潟市・小学3年生)

表紙の絵画は、「未来へつなごう!ふるさとの水土里子ども絵画展2022」において、地域団体賞を収めた、新潟市内の小学校に通う首藤留奈さんが描いた作品です。

作品には、コンバインに乗って稲刈りを行う首藤さんのお父さんが描かれており、「私もコンバインに乗ってお父さんを手伝いたい」といった思いが込められています。



未来の「水」「土」「里」を創造する

